

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路建設課長 井田 悦男	電話番号	0852-22-6456
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	生活関連道路整備事業
目的	(1) 対象 県民・道路利用者 (2) 意図 県道のうち幹線道路を除いた区間で、一定規模集落から幹線道路や市町村の中心部等への移動時間を短縮する。
事業概要	市町村合併支援、地域間交流の強化・拡大のため、生活関連道路（幹線道路を除く県道）のうち一定規模集落から幹線道路等を含む優先整備区間（県道の約1/3で構成）を、交付金事業や県単独の道路整備事業を活用しながら、未整備区間を2車線改良や1.5車線の改良等の整備を行う。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	生活関連道路（優先整備区間）のみなし改良率	目標値	72.0	73.0	74.0	75.0	%
	式・定義	生活関連道路（優先整備区間）のみなし改良済み延長／生活関連道路（優先整備区間）の全体延長	実績値	71.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	5,891,877	6,636,594
うち一般財源 (千円)	291,589	891,784

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県内の国・県道の2車線改良率は、全国平均76.5%に対し67.2%（全国40番目）と大きく下回っている。（平成26年4月1日現在の数値）  
 ・生活関連道路（優先整備区間）のみなし改良率においても71%と全国平均を下回っている。  
 ＊みなし改良済み：車道幅員5.5m以上のほか、1.5車線の改良済み区間及び農道等による代替区間を含む

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成27年度は下記工区が供用開始した。  
 1. 横田多里線 中村工区 L=460m  
 2. 斐川上島線 上阿宮工区 L=1,026m  
 3. 三次江津線 日和工区 L=631m  
 4. 黒沢安城浜田線 梨木峠工区 L=500m  
 5. 波佐匹見線 崎田2工区 L=480m  
 など24工区

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」  
 ・未整備区間については、大規模な構造物の建設を伴うなど大きな事業費が必要であるが、予算の確保が困難な状況となっている。

②困っている状況が発生している「原因」  
 ・財源となる国の交付金については、個別の事業毎の配分ではなく、大きな枠での配分となっており、特別な需要に応じた要求が反映されにくい状況となっている。  
 ・近年は、既存施設の老朽化対策や通学路の安全対策の分野に厚く配分され、通常の道路改良への配分は低く抑えられる状況となっている。

③原因を解消するための「課題」  
 ・地域の実情に応じた国費の配分

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国に対し地域の実情に応じた予算が配分されるよう丁寧に状況を説明するとともに、国の予算配分方針等を的確に把握し、工夫しながら、必要な予算が配分されるよう要望していく。

9. 追加評価（任意記載）